

私の母はフィリピン出身で、私をよく夏休みなどの長期休暇の時にフィリピンに連れて行ってくれました。その時の出来事です。

私達は近くのショッピングモールで買い物をするために車に乗ってショッピングモールに向かっていました。そして道路で信号が青になるのを待っている時、私と同じくらいの年の男の子が車がたくさん行き交う道路にもかかわらず、こちらに向かって一人でとぼとぼと歩いてきました。その男の子の格好はボロボロのTシャツとズボンに裸足で、かみの毛も整っておらず、決してきれいと言えるような格好ではありませんでした。どうしたのだろうと車内から様子を見ていると男の子は手に雑巾を持ち、車の窓を拭き始めました。日本ではこのような光景を見たことがなかったのでおどろきましたし、なぜ見知らぬ男の子が急に窓を拭き始めたのか疑問に思いました。そのようなことを考えているうちに窓拭きが終わりました。その時間約数十秒。本当にきれいになったのか怪しいくらい短い時間でした。すると男の子は運転席の窓をロックし、運転席に座っていた叔父から日本円で数百円ほどもらい、他の場所へ行ってしまいました。何が起こったか分からず、叔父にたずねてみると、貧困で十分な収入を得られない家庭に生まれた子供が窓拭きなどをしてお金を稼いでいるというのを聞きました。

私はとても衝撃を受けました。家庭事情で私と年もそれほど変わらない子が家のために働くだなんて考えたこともありませんでした。それにその日は平日の午前。本来なら学校にいる時間帯ですので学校にも通えていないことでしょう。

私は同年代の子が学校に行かず、家の収入のために働いていることにとってもおどろき、フィリピンの学校の制度は日本とどのように違うのか母にたずねてみました。フィリピンの学校は日本と同じように授業料は無料ですが、教科書や特別授業、学校設備などは自分で負担しなければならないため、貧しい家庭では学校に通うことができず大人になってからも安定した職業につけず、その子供も同じようになり悪循環が続いてしまうそうです。

しかし日本はどうでしょう。授業料、教科書、学校設備その全てが税金で払われているのです。そのおかげでほとんどの人が学校に通え、好きな職業に就くことができるのです。学校に通って勉強をする。当たり前のことに感じててもこれは本当にすごいことなのです。税金があるから学校に通える。税金があるから当たり前のように生活ができる。それほど税金は私達の生活を支えているのです。

しかし今の私は周りの大人のように働いて収入を得て税金を納めることはできないですが消費税でなら納めることができます。そうして今の自分にできる事を考え、税の大切さを理解し、税を納めて社会を支えたいです。